

2 収支の状況

(1) 収支概要

平成24年度純損失……………▲247,880千円 →46,275千円(対前年度差額)
 (平成23年度純損失……………▲294,155千円)

- ・収益については、外来患者数が増加したものの、入院患者数及び外来診療単価の減少から前年度比でほぼ横ばいとなった。
- ・費用については、給与費が増加しているものの、材料費・経費・減価償却費の減少等から約1%減少となった。
- ・収支差については、平成23年度と比べ赤字額が減少し約2.5億円となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H23年度	H24年度	H24-H23	対前年度比	参 考
収益	41.9	41.8	▲0.1	100%	診療単価 (H23) (H24)
営業収益	41.4	41.1	▲0.3	99%	入院 37,730円 → 38,920円
うち入院収益	23.1	22.2	▲0.9	96%	外来 10,844円 → 10,470円
うち外来収益	8.9	9.0	0.1	101%	
うち運営費負担金	7.6	8.2	0.6	108%	患者数 (H23) (H24)
営業外収益	0.5	0.5	0.0	100%	入院 61,168人 → 57,057人
うち運営費負担金	0.3	0.5	0.2	167%	外来 82,152人 → 86,172人
臨時利益	0.0	0.1	0.10	-	
費用	44.8	44.2	▲0.6	99%	一般病床利用率 (H23) (H24)
営業費用	43.6	42.7	▲0.9	98%	51.4% → 61.3%
うち給与費	24.7	25.7	1.0	104%	
うち材料費	7.1	6.3	▲0.8	89%	
うち経費	8.9	8.2	▲0.7	92%	
うち減価償却費	2.8	2.3	▲0.5	82%	
営業外費用	1.2	1.5	0.3	125%	
臨時損失	0.007	0.1	0.093	1429%	
収支差	▲2.9	▲2.5	0.5	-	

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (0.9億円減) 患者数の減少によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (1.0億円増) 非常勤職員の報酬及び退職給付費用の増加によるもの

うち材料費 (0.8億円減) 医業収益の減少及びコスト削減によるもの

うち経費 (0.7億円減) 診療依頼報償費の減少及び委託契約の見直しに伴う削減、保険料の減少によるもの

うち減価償却費(0.5億円減) 本館及び研修棟の償却期間が終了したことによるもの